

広報 いまり

昭和29年8月19日
第3種郵便物認可

毎月1日発行 定価1部20円 昭和52年6月1日 伊万里市役所総務部企画課発行

№.280



今年も災害の季節になりました。いつ・どこに
どのようなかたちで襲ってくるかわかりません。
家庭や職場・地域で防災会議を開き、災害時の
対策を話し合っておきましょう。テレビやラジオ
などの情報に耳をかたむけ、いつでも避難できる
体制を整えておきましょう。(写真は、二里町
中田の五坑洗炭ボタ山視察する防災パトロー
ル班)

'52

6月

ごみ焼却場に前処理機を設置

第3回臨時市議会

伊万里市議会の第3回臨時会は、5月23日に招集され、任期満了に伴う各常任委員会の委員の選任や昭和52年度と畜場特別会計および伊万里湾開発事業特別会計補正予算、ごみ焼却場の前処理機設置工事の工事請負契約の締結など市長提案3件・議会議案1件を審議可決しました。

各常任委員会の委員は次のとおりです。

(敬称略)

(◎=委員長 ○=副委員長)

総務委員会

◎中倉太郎次 ○黒川太郎 河村兼雄 前田一男 川内武美 副島 勉

文教厚生委員会

◎岩本判三 ○山下 香 吉原羊一郎 西田岩男 那須 久 占野秀男 大原 巖

産業経済委員会

◎岩永康徳 ○江頭橋次 田中静男 小旗松雄 前田良康 久浦行夫 藤田喜代馬 江頭順二

建設委員会

◎松瀬 勲 ○野口義一 原一雄 瀬戸貞治 中島恒雄 草野正三 田代千之 芳野文彦

◎と畜場特別会計は535万円を追加し、予算総額を849万円に

しました。

現在、市内外の19業者が利用していますが、49年度2,940頭を処理したと畜場は、50年度には2,506頭・51年度2,311頭と年々減少し、51年度決算見込みで510万円の赤字を出しています。

そのため、52年度の歳入を繰り上げて充用するための繰上充用金510万円と一時借入金利子の不足額25万円を追加、と畜場使用料を財源に当てることになりました。

市は、と畜場会計の赤字解消を図るため、51年度から管理業務を民間に委託し、経費の節減に努めています。事業収入の伸び悩みなどが赤字の要因となっています。

52年度は、収支の健全化を図るため使用料を改定するととも

に西部地区食肉処理施設の建設促進を関係市団体と協力して、県に要望しています。

◎山代町にあるごみ焼却場に前処理機を3,350万円で設置することが決まりました。7月中には完成する予定です。

この機械は、ごみを焼却する前に、一定の大きさに破碎し、脱水して燃えやすい状態にするものです。

ごみ焼却場は、昭和45年に建設されましたが、各家庭から出るごみの量が年々ふえ、今は、開設当時の2倍半になり、月に323t処理しています。

ところが、ごみの質が昔と違っていろいろあり、しかも水分を含んだものが多いことからトラックで運び込まれたごみを焼くのに毎日10時間もおかかっています。

今度設ける前処理機が動きはじめると8時間以内で処理できまた焼却炉も長持ちすることになります。

◎伊万里湾開発事業特別会計は1億1,013万円を追加し、予算

殊に、島国である日本は外国と海で隔絶されているので井の中の蛙に似たところがある。井の中の蛙と違って、日本は周囲が海のため大海は知っていても大陸を知らない。あるいは陸の国境を知らない。それだけ恵まれていないともいえるが、反面、過保護のひ弱さがある。今は世界の状況しだいで国民生活に重大な影響があるので、せっかく海外に旅行する人は単なる物見遊山だけでなく、何か一つこれからの生活に糧となるようなものをつかんで教えるようになりたい。

今年には市役所と議会からも海外研修に行ってもらおうつもりで、市役所はこれらの政策マンをつくるため若手の向学の人を選びたい。これからは国民生活の基礎物資の備蓄が最も大切な時代となるが、先般の東京の会議でも中国、東南アジアの至近港として伊万里湾がクローズアップされている。かくして私共は人と物の海外交流の基地を目指し、その整備を図りたい。

総額を1億1,745万円としました。

主な追加は、51年度決算で1億1,013万円の赤字が見込まれ

るため、52年度の歳入を繰り上げて充用するための繰上充用金と一時借入金利息を追加し、財源は県補助金を充てるもので

は1万5,768戸(97.7%)にのばりました。しかし、畳や敷物を干した世帯は、わずか25.5%に当たる4,122戸でした。

梅雨も間近かです。天気の良い日に風を通すなど湿気のない快適な生活を過ごしましょう。

家庭内の溝やためますの清掃草取りなどを行い、いつも清潔な環境の中で生活するよう努めましょう

伊万里を美しくする市民運動

延べ2万8,345人が参加

ご協力ありがとうございました

「私たちの郷土は私たちの手で清掃しよう、という市民の郷土愛で始まった「伊万里を美しくする市民運動」は6回目を迎え、5月1日から10日間、家庭内や周辺・公共施設の清掃を市内全域で行い、見違えるように美しくなりました。

市環境衛生課の調べによると一般家庭の清掃

を除き、公共施設などの清掃に参加した団体や市民は延べ2万8,345人で、前回に比べ3,508人ふえました。

その特徴は、事業所ぐるみや青年会議所・ロータリークラブなど各種団体の積極的な清掃奉仕によるもので、前回の2倍に当たる168団体などの協力が目

立ちました。

家庭内の清掃は、市職員227人を動員し、市民と駐在員さんなどを交えて対話を中心とした



隣り近所仲よく清掃する市民の皆さん

清掃指導を行いました。

清掃状況を世帯主が記入する検査表の回収も好成績で、市民みずから管理しなければならない溝や空地、市が整備を必要とする場所などの調査もできました。

検査表によると、ためますや溝・草取りなどを実施した家庭

6月の市民会館行事

- 7日 18時～21時
 - ▶河原崎長十郎「望郷の詩」公演(日中交友協会正統伊万里支部=A 3,000円)
- 8日 13時～17時
 - ▶所得税改正説明会(伊万里税務署)
- 8日・11日・15日・22日 13時～21時
 - ▶医療保険事務講座(日本保険教育協会)
- 9日 13時30分～15時30分
 - ▶第3学年生徒進路指導映画会(伊万里商業高校)
- 12日 13時～17時
 - ▶子ども劇場「バヤヤ王子」(伊万里子ども劇場)
- 25日 13時～17時
 - ▶子ども映画祭(富士映画社=300円)

最近、海外旅行が急速に上昇しつつある。経済が低成長になっても、この面への影響は少なく、レジャーにしても、海外かマイホームかの両極に分れて、減少しているのは中間の中型レジャーで、海外はいつこうに減っていない。

新婚旅行も海外指向が急増し、クイズの景品も海外旅行券が多い。

このごろはテレビがあつて世界の風物が居ながらにして見聞できるので「百聞は一見に如かず」ということわざも余り引用されなくなつたが、やはりテレビで見ると、实地に見聞するのとは、その実感に雲泥の差がある。

海外旅行は合せ鏡とよくいわれる。二枚の鏡によって人の真の姿がわかるように、海外に出て、外から日本を眺めることによつて、日本や日本人を見直して、みることが必要である。



公共下水道事業認可設計に着手



◎昭和70年完成をメドに 213億円

市は、いよいよ公共下水道の事業認可設計の作業に着手します。

年次目標の昭和70年完成へ向け、今年度は基本計画区域内で最も緊急度の高い、第1期計画区域が対象になります。

下水道の整備は都市になるための最低条件といわれています

下水道の普及率はイギリスですでに94パーセントにもなっていますが、日本はまだ20パーセントの低い普及率です。

当面する水質汚濁防止・浸水防止・し尿処理などを解決する下水道事業は、私たちが快適な生活を送るために欠かすことの

できない大きな問題です。

市は、昭和49年1月に策定した伊万里市総合計画の中に公共下水道の整備計画を掲げ、このほど次のような基本計画をまとめました。

(※上の図を参照ください)

- ▲目標年次 20年後を予測して昭和70年を目標にしています
- ▲基本計画区域 自然条件・行政的条件などから、用途地域指定予定区域2,046ヘクタールのうち1,045ヘクタールを計画区域としています。
- ▲計画処理人口 用途地域別人口密度から推計し計画行政人

口を9万3,000人と見込み、5万人としました。

- ▲排除方式 水質汚濁防止の面から合流式より勝れている分流式を採用します。
- ▲処理場の位置 放流水域の条件・地形・環境・経済性などから二里町八谷堀地先の埋立地としました。
- ▲処理方法 標準活性汚泥法を採用します。
- ▲総事業費(概算) 213億円
 - 汚水管きよ 97億円
 - 雨水管きよ 45億円
 - ポンプ場 4億円
 - 処理場 67億円

幼児の交通安全教育に利用

若い父親が紙芝居を寄贈

保育園などで幼児の交通安全教育に役立ててくださいと、5月11日、同じ幼児をもつ若い父親が、教育画劇紙芝居5巻(時価3,000円相当)を市に寄贈し名も告げずに立ち去りました。

市は、早速、心のこもった贈りものを生かそうと、5月16日南波多保育園(波多慶園長・67人)で紙芝居を行いました。

園児たちは、テレビより紙芝居が大好きとあって、保母さんから紙芝居をしますよと聞いて大喜び、道路の歩き方や横断歩道の渡り方をアヒルの絵でわかりやすく表現した「おててつないで」などを仲よく勉強しました。

幼児は、関心をひくものがあればすぐかけ出し、そこへ行くまでの交通の危険を考えません親の注意で幼児を守る方法しかありません。

道路や横断歩道では、こども



▶ 楽しく勉強する園児 (南波多保育園) ◀

の手をしっかりと握り、交通ルールを正しく教えることが大切です。

市は、市内の保育園長会を通じ、この紙芝居を各保育園に巡回します。

カブトガニの産卵場所をきれいに

ライオンズクラブ・伊万里高校生

伊万里ライオンズクラブ(小島京会長=57人)は伊万里高校生物部(吉永源三郎教諭=15人)の応援を受け、5月7日木須町多々良海岸で貝ガラやゴミを取り除く作業を行いました。

伊万里湾は、岡山県の笠岡と

並ぶカブトガニの産卵地です。

カブトガニは生きた化石とも言われ、このカブトガニを絶滅させまいと海岸に捨てられた貝ガラなど3トンものゴミを取り除いたあと、きれいな砂23トンをまき7月から8月にかけての産卵準備をととのえました。



児童手当現況届は今月中に

市民課・出張所の窓口で

現在、児童手当を受けている方は今月中に「児童手当現況届」を市に提供していただくことになっています。

「児童手当現況届」は、受給者の前年の所得・養育の状況などを、毎年1回6月1日現在で確認し、引き続き受給する資格があるかを定めるものです。

この届書を出さないと、受給資格があっても6月分以降の児童手当が受けられなくなります。忘れず期限内に届け出てください。

※受け付けは、市役所市民課・出張所の窓口で行います。
※印鑑をご持参ください。用紙は窓口で用意しています。

危険なため池など総点検

関係機関の防災パトロール

雨期を前にして、5月12日と13日、災害発生の恐れがある河川やボタ山・ため池など15か所の現地パトロールを実施しました。

パトロールには、市や県・警察・消防など防災機関の関係者が参加、地元の人から現地の状態を詳しく聞き、19日の防災会議で再検討しました。

●昨年8月の大雨で松浦川が氾らん、床上浸水65戸・床下浸水567戸を出した大川町石坂地区は、現在、11億円を投じ河川の立て替え工事が進められていますが、雨量によっては嚴重な警戒が必要です。

対策としては、白木橋など3橋の橋脚にかかる流木やゴミを取り除くとともに地区住民の避難体制を整えること・無線機による通信連絡体制の整備などを急ぐことにしました。

●大川町の立川ボタ山は、昭和52年4月18日に会社の無資力認定を受け、今年度からボタ処理の調査に入ります。

現地調査では、北面側はポケットがなく、下に人家があるため崩壊すると危険であり、嚴重な警戒と避難体制が必要です。

●空毛ため池（大川町川原）は漏水の原因と考えられる余水吐の石張りを雨期前に取り除き原因を究明しましたが、貯水量3万5,000m³のため池だけに降雨量では危険が予想され、消防団の協力をえて十分な警戒が必要

です。

●長野大溜（大川町長野）は、今年度から県営老朽ため池整備事業で漏水の激しいか所から整備されますが、田植え時期を前に水を落せないため、常時水位を下げ、漏水をできるだけ防ぐとともに余水吐の管理を十分に、警戒体制を取る必要があります。

●真手野地すべり（黒川町真手野）は、約2,000m²の墓地に古いき裂があり、地すべりを起こせば市道や人家1戸・農地が危険になります。抜本的対策として表土の排除と水抜きを行い、可能であれば墓の移転が望めます。現状をふまえ適切な避難と警戒が必要です。

●松島五差路と脇田川は、昨年8月の大雨で松島地区の道路や家屋が浸水し、その後、県・市地元の3者で抜本的対策を協議しました。

雨期対策としては、2か所の

樋門操作を確実にを行うため、地元と消防団の協力をえるとともに市職員2人を派遣、交通規制などの標識を設置するほか、アズの除去や都市下水路へ通ずる排水路の清掃指導を行うことにしています。

●国見水平第2ボタ山（東山代町大久保）は、ボタの流出についてはほぼ安定していますが、東大久保の浦丸地区は警戒体制が必要です。

●向山三枚坑（山代町西大久保）は、ボタの排土工事が雨期後に行われるため、投光器や測定標柱の設置を検討、雨期の警戒と避難体制を整えることにしました。

福岡管区気象台は、今年の梅雨は陽性型といわれ、6月下旬から梅雨前線が活発になり7月上旬にかけて大雨の降る恐れがあり、極地的に集中豪雨に見舞われると予報しています。

ガケ下や地すべり・老朽ため池など危険地区の方は、気象情報に十分注意し、嚴重な警戒と万全な避難体制を整えておきましょう。

選挙違反をなくしましょう

市明い選挙推進協議会（藤田平太会長＝33人）は、5月19日、玉屋やユニード前など3か所で選挙違反の絶滅を呼びかけ道行く人に選挙法の改正点などをマンガでわかりやすく刷り込んだチラシ1,000枚と標語入りの鉛筆1,000本を配りました



異常を知ったらまず通報

— 雨期・台風 に 備 えて —

これから秋にかけて、集中豪雨や台風の襲来など心配の多い季節に入ります。市内には1,431か所の危険か所があります。

急傾斜地247か所・老朽ため池69か所・地すべり地域27か所・ボタ山15か所が特に要警戒です。

今年の梅雨入りは例年より早いといわれ、集中豪雨による災害が予想されます。家庭や地域でも万全の予防対策をたてましょう

連絡は市か区長に

災害が予測される気象状態の場合は、県・市・警察・消防などの防災関係機関が、危険地域を中心に警戒体制をとります。

状況が変わった時は、その状態をできるだけ早く、詳しく駐在員（区長）を経由して市役所出張所へ通報してください。

伊万里町や瀬戸・大坪・大川内の方は、直接市役所をお願いします。

家の周囲の安全確認を

大雨や台風の時、思わぬところから雨漏りしたり、水が吹き出し、被害を受けるものです。

自分でできる屋根瓦や雨戸・テレビアンテナなどの補修や補強、下水溝や水路は前もって清掃し、水はけをよくしておきましょう。

被害を最少限度にいとめるには、日ごろの防災に対する心がまえが大切です。

▶住宅付近に急傾斜地や造成地などがある地域は、砂防や排水施設が完全であるかを確認、

不完全な場合はすぐ必要な対策を講じましょう。

また、家族の寝室も予め検討し、特に、老人やこどもは万一に備え、最も避難しやすいところに移しておくことも大切です。また、家族全員で避難場所を

— 伊万里川を美しくしよう —

河川敷の石をはぐらないで

天理教伊万里支部が補強作業

“梅雨を前に伊万里川をきれいにしよう。”と、天理教西松浦支部（森川浩吉支部長）は、5月14日から4日間、延べ120人の会員を動員、川の清掃と護岸の復旧奉仕をしました。

伊万里川の延命橋から岩栗橋までの両岸は、芝生を植えた河川敷が設けられ、芝生の上をトレーニングする市民や孫と散歩するお年寄りの姿が見られ、市民の憩いの場となっています。

しかし、魚釣りのシーズンを迎え、えさになる船虫を取るため河川敷の護岸に詰め込まれた石がはぐられ、川に投げ捨てられていました。

参加者は、投げ捨てられた石を拾い上げ、ポッカリあいた護

話し合っておきましょう。

▶ため池は、農家にとって大切な水源です。しかし、決壊すると耕地や人命にまで被害を及ぼします。貯水量や堤防の状態を監視し、実情に応じた対策をたて、栓を抜くなど能力以上の水をためないよう心がけてください。

広報こよみ

1日～7日 全国水道週間

5日～11日 環境週間

10日 時の記念日

13日 定例市議会招集（予定）

14日・28日 交通事故相談日
（生活相談課）

16日 無料法律相談日（生活相談課）



岸の穴に石を詰め込み、丹念に補強しました。

河川敷は、伊万里川が増水した時に護岸を守る役割を果たします。詰められた石を取るとコンクリート壁が崩れ、大災害を引き起こす恐れがあります。絶対に石を取りはずさないようにしてください。また、伊万里川に空きカンやゴミを捨てないようにお互い注意しましょう。

51年分特別減税のお知らせ

詳しいことは伊万里税務署へ

昭和51年分所得税の特別減税が行われ、次の金額が還付されることになりました。

還付金額は本人の場合6,000円、控除対象配偶者や扶養親族は1人につき3,000円として計算した金額です。

ただし、納めた昭和51年分の所得税額の方が少ない時は、その税額までとなります。

〔還付を受けられる人〕

昭和51年分の所得税を納めた人です。ただし、利子・配当などの源泉分離課税の所得税は還付されません。

〔還付方法と手続き〕

▶サラリーマンの場合

今年6月1日現在、昨年と同じ会社に勤務しているサラリーマンは、6月から7月にかけて賞与や給与を受け取る時に勤務先から還付されます。

しかし、給与以外に所得があったり、2か所以上から給与をもらっているために確定申告した人で、勤務先から還付しきれない分がある時は、その分は、次に説明する「事業所得者など」の場合、と同じ方法で還付されます。

▶事業所得者などの場合

事業所得者など確定申告をして納税した人は、6月下旬ごろ税務署から還付する金額を知らせます。その際、同封の還付請求書に所要事項を記入、伊万里税務署に返送してください。税務署から還付金の支払通知書が送られてきますので、支払通知書によって郵便局で還付金を受け取るようになります。



▶その他

給与の税金を源泉徴収で納め年末調整を受けているが、今年5月末までに退職した人や昨年中途で退職したなどのため、給与の税金を源泉徴収されたままで年末調整を受けていない人などは、税務署へ還付請求してください。

この場合、昭和51年分の確定申告書を提出していない人は期限後の確定申告をし、特別減税を受けることになります。

詳しいことは伊万里税務署所得税担当（☎③3147）へお尋ねください。

くらしのニューズ

〔ふきんの手入れ〕

汚れたふきんは見た目が悪いだけでなく、ブドウ球菌、大腸菌など大変な数の雑菌がついています。衛生上からも心配が必要です。

- ①ふきんの数……6枚ぐらい
- ②材質……綿と麻の混紡
- ③色……白
- ④大きさ……30×70センチ前後

ふきんの手入れで大切なことは、使ったら汚れがあまりひどくならないうちに洗うことです。流し台の近くに固形石けんをいつも置いて手まめに洗ひましょう。

洗った後は必ず日光に干し、いつも取り出しやすい状態にしてしまっておきましょう。

＝ふるさとの祭り展＝

「ふるさと運動」の一環として、6月30日まで「ふるさとの祭り展」が歴史民俗資料館で開かれています。珍しい祭り用具が勢ぞろいしています。昔から受け継がれた用具を見て、認識を深めましょう。日曜は休館させていただきます。（観覧無料）



積立分譲住宅の入居者募集

説明会は6月15日市役所大会議室

佐賀県住宅供給公社は、立花台地に建設する積立分譲住宅の入居者を募集します。

積立分譲住宅とは、一般分譲住宅の自己資金に相当する金額(頭金)559万円を一定期間積立て、住宅金融



▶積立分譲住宅が建つ立花台地◀

公庫から融資する420万円と合わせて住宅を購入する制度です

●入居資格

▶みずから居住する住宅を必要とし、住宅金融公庫の融資を受けなければ住宅を購入できない日本人。(二重国籍者を含む)

無料人権相談所を開設

法務局伊万里支局・伊万里人権擁護委員協議会は、次の日程で「無料特設人権相談所」を開きます。

人権・相続・家庭・借地借家不動産・その他の問題でお悩みの方は、気軽にご相談ください

▶日時と場所

6月24日 二里公民館
" 27日 南波多公民館

▶時間 10時～15時

▶相談担当者

- ・人権擁護委員 前田新一氏
- ・ " 小島満義氏
- ・法務局伊万里支局職員

▶公社の定める方法により期間内に積立を完了することができる人。

▶公庫借入金に対して毎月の支払いが確実にできる人。

▶入居時に同居世帯人員がある人。(婚約者を含む)

▶原則として満60歳未満の人。

▶申し込み本人の月収が原則として毎月の公庫償還金の5倍以上(15万4,000円)ある人。

ただし、本人のみで基準の月収に達しない時は、永続して同居できる親族の確実な収入に限り加算することができます。

▶現在、公社の分譲住宅などの購入者および購入申し込みをしている人または住宅金融公庫から資金の借り入れをしている人は申し込みません。

▶当選後、申込者と同等以上の月収を有する保証人1人がたてられる人。

▶原則として県内に居住しているか勤務先のある人。

●募集戸数 15戸

●住宅の規模 木造平家または2階建て66.78㎡(3DK)
土地面積約280㎡

●分譲予定価格 建坪が若干広くなり986万円(住宅金融公庫融資額420万円)

●頭金の積立方法(予定)

- ・52年8月……167万7,000円
- ・52年12月……55万9,000円
- ・53年7月……335万4,000円

●説明会 6月15日(水曜)13時 市役所4階大会議室

●申込受付期間 6月21日～30日(17時まで)

●申込先 市役所都市開発課開発係(☎③2111 内線346)

●入居予定時期 昭和53年7月31日

※詳しいことは市都市開発課または県住宅供給公社(☎0952-25-2261)へお問い合わせください。

一般分譲住宅は、10月ごろ募集することになっています。

一般技能士訓練課程 通信制訓練の受講者募集

伊万里総合高等職業訓練校は通信制の一級技能士訓練課程の受講者を募集します。

▶訓練科目 機械加工科・仕上げ科

▶訓練開始日

受講手続きを完了した月の翌月1日から

▶訓練期間 標準1か年

▶受講料 年額7,000円

▶特典 一級技能検定の学科試験免除

※受講資格など詳しいことは訓練校(東山代町里☎⑧0155)へお問い合わせください。

51年度の利用者延べ9,757人

好評の一坪図書館

民家や事業所などに市立図書館の本を置き、仕事着のまま気軽に本を借り出せる「一坪図書館」の設置場所が決まりました

51年度中に一坪図書館を利用した人は延べ9,757人（こども5,346人・大人4,411人）にもほり好評です。市は、新年度150万円で新刊図書を購入し、巡回させることにしています。

一坪図書館設置場所

(敬称略)

設置場所	管理事務者		
伊万里	大川内山向陽園	福岡良一 奥順一	
	古賀白野公民館	中島惣吉 緒方範隆	
	母子寮築港	波多野千代子 満江洋介	
黒川	黒川公民館	小島睦老 崎田久枝	
	立目分校	藤本忠弥	
	名村団地畑川内	梶原正寿	
波多津	波多津公民館	藤森安磨 高田イソエ	
	井野尾木場板木	松下円 瀬戸キクノ	
	南波多公民館	樋渡伊助 近藤チヨ	
南波多	府招上原屋敷大曲笠	井手ナル 高田政雄 前田三角	
	大川	大川公民館	榑崎毎男 福原稔
		片竹立川駒東	堀田治 田口光司 坪田安衛

◎図書を借りる時の注意

▶ 2週間以内に返してください
借りる時は係の人に届けてください。

▶ 破ったり、汚したり、紛失すると補償していただきます。
大切に取り扱いましょう。

松浦	松浦公民館	幸島重光 高田豊 原口ノブ子 樋渡サダ子 川久保恵美子
	上分宿下下	
	二里	古川軍二 吉永正俊 前田淑子 田中敬之 富永初市
	作井手内の馬場	

東山代	東山代公民館	福田満男 森辰己 川上順陸 田中静二 松尾芳郎 大野茂樹 山口季範 古川邦彦
	長浜福住	
	下分分校	
	日南郷分校	
	川内野	
山代	山代公民館	前田昭 立石馨一 宮崎熊太郎 吉永安紀 吉田ムメ 山本トモ 吉崎弘 林司
	楠久	
	波瀬公民館	
	浦の崎	
	西分立岩	
代	東洋ブラウッド	
	峰	

県立図書館自動車文庫駐車場

黒川町名村寮	古賀謙之
波多津町畑津	金子元久

自然の山野で体を鍛えよう

市オリエンテーリング協会会員募集

“会員相互の交友を深め、体力づくりとオリエンテーリングの普及を図る、市オリエンテーリング協会（会長＝世戸常德市教育委員長）が、5月14日誕生会員を募集しています。

このスポーツは、スウェーデンやスイスから普及し、今では世界各国で盛んに行われています。

自然の山野に設けたいくつかのポストを、磁石と地図を使ってたどりながら、ポストを順々に探しあて、短時間にゴールするスポーツです。市は、昭和48

年1月、県・市教育委員会主催のオリエンテーリング大会を開いてから、家族ぐるみやグループの参加が年ごとにふえています。

現在、協会々員28人のうち17人は日本オリエンテーリング協会の公認指導員です。市内に居住または勤務する満18歳以上の方なら会員になれます。年間会費1,000円を添え、新天町のナカシマスポーツ店内の事務局へお申し込みください。

8月と11月に市民大会を計画しています。

スポーツ振興の輪を広めよう

体育指導員を増員

若楠国体を契機に、急激にふえた市民のスポーツ熱を長続きさせ、スポーツの振興と指導に当たる市体育指導員が、20人か

体育指導員と担当区域

○印は新委員（敬称略）

	氏名	住所
伊万里	古賀常六	松島町
	吉永公也	新天町
	光武久子	松島町
	柴田満州男	大川内町
	○山口貞子	木須町
	○松尾哲昭	瀬戸町
黒川	木戸正夫	椿原
	梶原春吉	畑川内
	○前田武英	清水
波多津	小杉三男	辻
	松尾 団	筒井
	○酒谷正年	辻
南波多	山下 強	府招上
	緒方幸彦	〃
	○熊川文隆	水留
大川	久浦行夫	大川野
	松尾博幸	〃
	○丸尾健二	立川
松浦	川崎照己	上分
	飯盛正義	下分
	○古賀勝美	村分
二里	川棚義夫	大里
	片岡光昭	金武
	○田中幸信	大里
東山代	田中徳夫	里
	立石節夫	脇野
	○日高久司	天神
山代	川久保健次	久原
	馬場 忠	浦の崎
	○吉崎 弘	楠久津

ら30人に増員されました。

同委員は次のような役割を果たします。

- ▶住民の求めに応じ、スポーツの実技指導を行う。
- ▶住民のスポーツ活動促進のため

めに組織の育成を図る。

▶学校・公民館などの教育機関
その他行政機関が行うスポーツ
行事や事業に協力する。

▶住民のスポーツについての理解を深める。

▶このほかに住民のスポーツ振興のための指導助言を行う。

※任期は53年3月31日で、分担区域は指導委員の住む町が中心となります。

7月10日から早朝ソフトボール

6月26日までに市協会事務局へ

市民生活にスポーツを取り入れ、体力づくりと仲間づくりを目標とした「第3回伊万里市民早朝ソフトボール大会」が開かれます。

▶期日 7月10日から1か月間
(日曜日を除く)

▶時間 午前6時から午前7時
20分まで

▶参加対象 市内に居住する市民で編成した地域チーム(クラブ)または同じ職場に勤務するメンバーで編成する職域チーム

▶参加料

- ・市登録チーム 1,000円
- ・未登録チーム 2,000円

▶申込締切り 6月26日までに参加料を添えてお申し込みください。(電話申し込みは受け付けません。)

▶監督会議 7月1日18時から
市中央公民館

※申込書は、市ソフトボール協会事務局(松島町・古賀常六方 電話③2393)に準備しています

タバコは市内で買いましょう

6月20日からは早起き野球

15日までに申し込みを

6月20日から「第4回早起き野球大会」が開かれます。毎朝6時から7時30分まで試合が行われます。

主な要項は次のとおりです。

▶主催 市・市体育協会・市軟式野球連盟

▶期間(開会式 6月19日18時)
・6月20日～8月上旬

▶会場 国見台野球場

▶参加資格 一般伊万里市民(但し昭和52年6月1日現在で住民登録済者。小中学生を除く)

▶チーム編成 職場・地区・同好者チームいずれも可

▶参加料 2,500円

▶申込方法と申込先

・新天町654-7 中島スポーツ店内(大会要項と申請用紙は同店で準備 電話③1212)

▶監督会議 6月16日(木)

・18時 市中央公民館学習室
(当日参加料・申請書をご持参ください)

グラフで見る伊万里市 その5

増えている事業所・しかし…

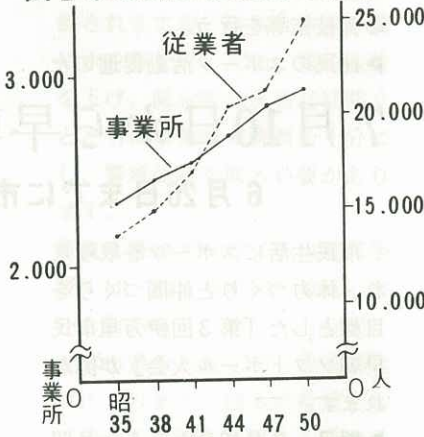
資料：昭和50年事業所統計（含む公営）

市内に事業所は2,919あり働いている従業者は2万4,922人です。

図Ⅰのように35年からふえ始め、3年前と比較して従業者が急増しています。これは、48年の造船企業と関連企業の進出によるものです。

事業所数は卸・小売業が最も多く、従業者数は製造業が第1位で8,771人と全体の35.2パーセントを占めています。

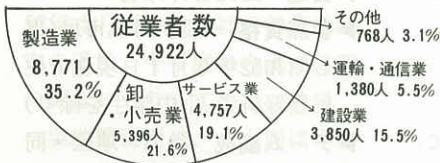
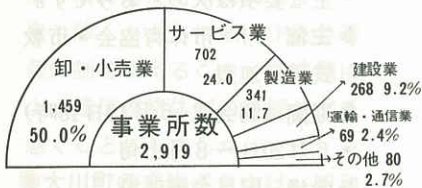
図Ⅰ 事業所と従業員の推移



製造業の従業者が増加

企業誘致により製造業の従業者が数大きく伸びています。

図Ⅱ 産業別構成比



5人未満72.1%・10人以上0.2%

市内には、従業者が5人未満の零細な事業所が非常に多く全体の72.1パーセントも占めています。50人以上の事業所は64でそのうち300人以上の事業所は5企業だけです。

市の人口

(5月1日現在)

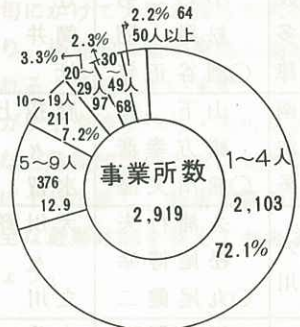
総人口	60,862人
男	28,886人
女	31,976人
前月比	-51人
世帯数	15,972世帯

このことは、市内に「働く場所」が増加したこと、さらに生産や各個人の所得の伸びにつながっています。

望まれる企業誘致

昭和35年以来、事業所数や従業者数は増えていますが、市内の生産年齢人口や工業用地から見た場合労働市場の拡大が必要です。今後は環境に合った企業誘致が切望されます。

図Ⅲ 従業者規模別割合



図Ⅳ 産業別従業員数

	卸・小売業	鉱業	サービス業	製造業	建設業	運輸	金融・保険・不動産業	電気・ガス水道業
S 35年	27.4	21.6	20.6	11.7	8.4	6.6	2.9	0.8
41	26.6	9.7	21.1	18.2	14.7	6.6	0.9	2.3
47	23.4	19.6	32.0	14.5	6.8	0.7	0.7	2.3
50	21.6	19.1	35.2	15.5	5.5	0.5	0.6	2.0

● 年金コーナー

年金をうける時は裁定請求を

国民年金は、本人の「裁定請求書」の提出によって初めて支払われます。これを怠って5年経つと時効になって年金を受けられないこととなります。

裁定請求書を提出する時は、国民年金手帳を添え、年金の銀行払込みなど布望する時は、預

金通帳の記号番号について金融機関の証明を受けてください。

●国民年金の加入方法・裁定請求についてのお問い合わせは市民課年金係へ。

(☎③2111内線216)



☎ 095548
鷹島局が自動電話に

鷹島局の電話が6月1日午後2時から自動電話になりました。市外局番は095548です。市内局番はありません。また、鷹島局の自動電話臨時電話帳をご希望の方は次へお申し出ください。

- ・伊万里電報電話局
- ・郵便局（楠久・久原・浦の崎・黒川・波多津・大川野・南波多・松浦）

町別飲酒運転検挙者数

(昭和52.4.30現在 伊万里警察署調)

町名	1月～3月	4月	計
伊万里	19	9	28
黒川	1	2	3
波多津	0	0	0
南波多	5	0	5
大川	5	1	6
松浦	4	5	9
二里	3	1	4
東山代	3	0	3
山代	5	0	5
(市外)	20	9	29
計	65	27	93

胃ガン集団検診

▲対象者 40歳以上の方（胃の手術を受けた方・妊婦を除きます）

▲料金 250円

6月7日 大川公民館（大川町）

6月24日 南波多公民館（南波多町）

▲受付時間 8時50分～9時30分

●胃ガン検診を受ける方は前日の午後10時以降降水など口にしな

子宮ガン集団検診

▲対象者 30歳以上の方（妊婦を除きます）

▲料金 250円

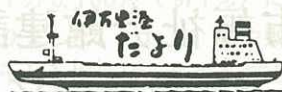
▲日時と場所

6月8日 旧山代出張所（山代中部・東部）

6月20日 松浦公民館（松浦町）

6月27日 二里公民館（二里町）

▲受付時間 13時～13時30分



4月

輸出入総額は49億4,600万円で3月に比べ5億5,000万円・12%の増加。

輸出

船舶1隻リベリア向22,893トンの輸出で3月に比べ4億4,900万円・29%の増加。

輸入

南洋材の原木5億2,700万円3月に比べ4億4,500万円・46%の減少。

船舶の入港

日本船4隻、外国船5隻（パナマ2・リベリア3）の計9隻で3月比2隻の減、前年同期比7隻の減。

(唐津税関支署伊万里出張所)

成人病・妊婦健康相談

午前中は成人病相談、午後は妊婦健康相談です。

▲日時と場所

6月14日 波多津公民館・東山代町

6月21日 黒川公民館・南波多公民館

6月28日 山代公民館・松浦公民館

▲成人病相談は、血圧測定・検尿・高血圧知識の普及と予防など。

▲時間 10時～11時30分

▲妊婦健康相談は、妊婦・分娩産褥期の保健衛生・新生児の保育など。

▲時間 13時～14時30分

●母子健康手帳をご持参ください。

市福祉会館建設基金に寄付

県明るい社会づくり協伊万里支部

佐賀県明るい社会づくり推進協議会伊万里支部（市川カヨ支部長＝600世帯）は、5月2日市福祉会館建設基金の一部にと募金した9万245円を市福祉会館協議会に寄付しました。

同支部は、体の不自由な方たちが、研修や集会・親睦を深めるにも施設がないことから、5

簡保資金の写真作品を募集

郵政省は、簡易保険の融資制度を利用して建設した施設（学校・公営住宅・公園・道路・橋・港湾・市場など）を題材とした明るい写真やスライドを次の要領で募集します。ふるってご応募ください。

▶サイズ（未発表のもの）

- ・カラーはスライド35mm以上
- ・白黒は四つ切り（単・組み写真でも結構です）

▶募集期間 昭和52年8月10日まで。

▶作品の受付 最寄りの郵便局 保険窓口

▶賞（カラー・白黒の両部門）

- ・推せん 1点 郵政大臣賞と賞金5万円・トロフィー
- ・特選 2点 簡易保険局長賞と賞金3万円・トロフィー
- ・入選 5点 簡保資金研究会理事長賞と賞金1万円・楯
- ・佳作 20点 賞品
- ・参加賞 応募者全員に粗品

※詳しいことは最寄りの郵便局へお問い合わせください。



▼収入役に募金を手渡す市川支部長▲

月1日、40人の会員がバスセンターや銀天街アーケード入口など市内5か所でチラシ1,000枚を配り市民に募金を呼びかけた

ものです。

同協議会は、これまでも交通遺児やベトナム難民救済などの募金活動も行っています。

廃物利用でくずカゴ造り

黒川町婦人学級



黒川町婦人学級（横井志津子会長＝41人）は、5月12日、黒川公民館で農協や食品会社などで不用になった包装用の細ひもを使って「くずカゴ」を造りました。

「紙くずや空き缶など、道路に捨てないでこのくずカゴに捨てましょう」と、協力を呼びかけるものです。造ったくずカゴは道路脇にすえつけられます。

この日は同町婦人会もくずカゴ造りを応援しました。集まったゴミは、毎月1回お互いで集め、空き缶は業者に買ってもらうという再利用作戦です。

毎月10日は「税務相談日」

伊万里商工会議所

商工会議所は、伊万里税理士の協力をえて毎月10日「税務相談日」を設けています。

相談は無料です。10日が土曜日・祝祭日の場合は翌日に行います。時間は午後1時から3時までです。（☎③3104）

国見台プール21日オープン

6月21日～9月10日まで

国見台プールが21日にオープンします。利用時間は午前9時30分から午後5時までです。

使用料金は、一般60円・学生生徒30円です。なお、月曜日は掃除などのため休みます。

市民のページ

郵便局からお知らせ

定期貯金の特別取り扱い

郵便局は、福祉年金などの支給を受けている方に有利な貯金利率を適用する定期郵便貯金の取り扱いをしています。

利用できる方は、老齢福祉年

災害時のお問い合わせは

③1119番へどうぞ

市消防署は「テレホン・サービス」を行っています

台風・水害・火災の発生などのお問い合わせにご利用ください。

金・障害福祉年金・母子福祉年金・児童扶養手当・福祉手当などの支給を受けている方です。

▶ 取り扱い期間 昭和52年12月31日まで

▶ 預けられる金額 1人100万円まで

▶ 預け入れ期間 1年間

▶ 貯金利率 年6.75パーセント

▶ 申込み方法 郵便局をあらかじめ1局決めてから申し込んでください。なお、銀行など

市民ロビーで市長と会う日

6月は定例市議会が開かれるため「市民ロビーで市長と会う日」は休ませていただきます。市に対するご意見などありましたら生活相談課へご連絡ください。

(☎③2111内線225)

の金融機関で昭和52年5月16日以降、すでにこの種の預貯金を利用している方は取り扱えません。

申し込みの時は、年金証書・手当証書(または保管証)・受給者証明書をご持参ください。

次の方からご寄付をいただきました。厚くお礼申し上げます。(敬称略)

緑化基金へ

◆篤志寄付

。五万円 原 義治(新天町五六三 原工務店・社屋完工記念)

。参拾万円 吉原善三(東町 (株) 吉善商店・冷凍倉庫落成記念)

。五千七百円 市役所七隈会

社会福祉事業費へ

◆香典返しを寄付

。西田文人(東山代町滝川内 亡父源市)

。吉田 優(瀬戸町中通 亡母クヨ)

。吉國フミヨ(大川町川原 亡夫廣志)

。道山雄子(立花町西円蔵 寺 亡父太郎)

。伴 洋(大坪町白野 亡義母シヲ)

。深川サク(大川町立川 亡夫海音)

。樋渡キヌ(二里町川東 亡夫嘉助)

。田中正司(波多津町煤屋 亡父永吉)

。原口ハツ子(松浦町久良木 亡夫清)

。森 シズ(山代町久原一 区 亡夫太七)

。立川倉次(大坪町祇園町 亡弟春海)

。杉本俊之(波多津町浦 亡父忠兵衛)

。黒川秀男(山代町野々頭 亡養母クイ)

。前田三郎(山代町東分 亡父新一)

。村岡ヨシ子(二里町西八 谷掘 亡夫信義)

。桐原哲郎(大坪町六仙寺 亡父留雄)

。原田耕司(山代町楠久 亡祖母キク)

。鳥山雷次(木須町木須西 亡父徳次)

。板垣一男(山代町楠久津 亡妻千代野)

。瀬戸口繁次(立花町西円蔵寺 亡妻ノブ)

。中村勝子(二里町大里 亡夫健次)

。梅崎善太郎(大川内町平 尾 亡母トシ・市老人福祉

ありがとうございました



センター指定)

◆篤志寄付

。七千五百円 牧野敏昭(伊万里警察署経由)

。八万七千七百三十拾円 立正佼成会伊万里支部(市福祉会館建設資金として)

(累計六二万二六三〇円) 教育振興奨励基金へ

◆香典返しを寄付

。江口一丸(伊万里町今町 亡義母小松トヨ)

。土井正人(東山代町長浜 亡父正起)

。樋渡キヌ(二里町川東 亡夫嘉助)

(累計二六万七〇〇〇円) 交通遺児救済資金へ

◆篤志寄付

。老万円 伊万里磯釣クラブ 代表・川原繁幸

◆篤志寄付

。老万円 中島紘一(新天町六五四)

東山代公民館建設資金へ

◆香典返しを寄付

。弓削澄子(東山代町福住 亡夫良市)

。多久島正行(東山代町長浜 亡母カノ)

(昭52・5・18現在)

こどもページ



水ぬるむころ

川あそびに注意

第9回スポーツ少年団

ソフトボール大会

- ▶主催 市スポーツ少年団・伊万里ライオンズクラブ
- ▶期日 6月5日(日曜日)
- 8時30分開会式
- 9時試合開始
- ▶会場
- 伊万里高校(小学生22チーム)
- 二里小学校(中学生12チーム)

きのうまであんなに天気がよかったのに、けさは雨がふっています。ふつうなら鳥さんたちにとってはいやな雨ですが、きょうはちがいます。みんなのおおは、ほっぺがおちんばかりのよるこびようで、雨の中をとびまわっています。

やがて雨がやみます。すると、とおい山のむこうから、このみずうみに、それはきれいな虹のはしがかかりました。鳥たちは虹のところにあつまりました。虹のはしから色の神さまがたくさんの色をもって、スルスルッとすべりおりてきました。

鳥たちは神さまに「いっしょうけんめいに、からだに色をぬってもらうようにおねがいしました。みんながねっしんにおねがいするので、色の神さまは「きょうはこの森の木をぬろうとおもってききましたが、しかたがない、鳥さんたちにぬってやろう」といいました。鳥さんたちは、こどりにしてよろこびました。

「しずかに、しずかに。よくききなさい。森や野原の草木は自分でからだをあらうことができないので、色があせたらぬりなおしてやっています。鳥さんたちには、いっぺんぬったら、せつたいにぬりなおしはしないからいいですね。みんなは大きな声で「ハイ」とへんじをしました。「それから色をぬったら、七日間は毎日からだを水でよくあらひ、よごれをおとすこと。約束をやぶると色がかわりますよ」。鳥たちは七日間、毎日からだをあらうことを約束しました。

「それでは、自分がぬってもらいたい色を目をじて心の中で思いなさい」。みんなは目をしっかりとじ、それぞれにぬってもらいたい色をいっしょうけんめいに思いました。

神さまは、七色一つのカンの中にまぜあわせ、空たかくなげました。すると、空いちめんから色とりどりの色がまいおち、鳥さんたちのからだにつきました。「目をあけてもいいですよ」、神さまがいました。

鳥さんたちは、そっと目をひらきました。どうでしょう。いままでまっ白だった羽根には、赤やみどりなどおもいおもいの色がつき、それはそれはきれいでした。鳥たちは神さまになんべんもなんべんも頭をさげ、よろこんで森へとんでかえりました。

みずうみでは、鳥たちがきれいな色のついたからだをいねいにあらっています。神さまに七日のあいだ水できれいにあらうようにいわれた

第二回佐賀新聞童話賞

三席 赤いカラス

(下)

作・井手薫(栄町)

むかえました。鳥さんたちが、みずうみのほとりの大きな木にあつまってきました。そして、おたがいに自分の色をじましました。カラスもまっかな羽根をじまんしようとしてきました。すると、ほかの鳥たちが、カラスをみて笑いました。

「なにがおかしなんだ。まっかな色がうらやましいくせに」とカラスはいいました。「それがまっかだてまっくらじやないか」。みんながいました。カラスは、羽根をみてびっくりしました。きのうまできれいなあかいろだった羽根が、まっくらになっていました。カラスは、あわてて、みずうみに自分のすがたをうつしました。羽根だけでなく、あた

まも、足もみんなまっくらでした。「どうしてなんだ」。カラスは泣きだしながらいいました。ものしりのフクロウが、「きみは神さまがいった約束をまもらなかったからだよ七日のあいだ、きれいにあらいなさい」といってうろ」といいました。ほかの鳥たちも、みんないっせいにみずうみの水で自分のすがたをうつしてみました。だれも黒色をおねがしたものはいいのに、ところどころ黒くなっているものがありました。

それは水でからだをあらうとき、よくあらわなかったところが黒くなっているのです。かなしむものもいましたが、いまさらどうすることもできません。

「なぜ、おれだけこんなにみにくい色にならなければいけないんだ」。カラスは、「きれいな赤色はどこにいったんだ」といいながら、みずうみの水でゴシゴシとからだをこすりましたが、黒い色は赤い色になりませんでした。カラスは泣きながら、「アカ色、アカ色」といって、神さまをさがしもとめました。しかし、どうすることもできません。

今でも、カラスがアカアアといっているのは、アカ色をもとめていないのです。アカ、アカとないているのが、みんなには、ア、カア、カアときこえるのです。

きょうもカラスは赤色をもとめてアカ、アカ、となみだをながしながらとんでいこうとしてしょう(おわり)